

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年6月8日	記入者		連絡先	2852
平成18年度部名	環境事業部	課名	ごみ減量推進課	課長名	江成 博
平成19年度部名	資源循環部	課名	資源循環推進課	課長名	宮崎 孝司
事務事業名	資源分別回収事業				
予算上の事務事業名	資源分別回収事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21210		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくれます				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				
施策名	第1施策 リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律 相模原市資源分別回収事業奨励金交付要綱・相模原市資源分別回収事業補助金交付要綱・				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	第4期相模原市分別収集計画			分別回収品目別の年次収集計画	
計画年次	18	年度～	22	年度	
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)		▼	5 事業開始年度	昭和63年以前 ▼
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
家庭から排出されるごみ(一般ごみ)から、資源(びん類、かん・金物類、紙類、布類)の分別回収することにより、ごみの減量化と資源の有効活用を図るとともに、最終処分場ほかの廃棄物処理施設の延命化を図る。				(2) 対象(誰、何)	
				一般市民	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
相模原地域では、市、市民、事業者の「三者協調方式」による資源(びん類、かん・金物類、紙類、布類)の分別回収を行っている。 三者協調方式：市民(地区自治会連合会)と協定を結んだ事業者が資源回収を実施し、市は自治会連合会に奨励金、回収事業者に補助金を交付し側面から支援している。					
回収量 32,771t(びん類 5148t、かん・金物類 3,313t、紙類 22,126t、布類 2404t)					
・奨励金 地区自治会連合会 44,550千円(回収量により按分) 市自治会連合会 810千円					
・補助金 回収事業者 524,553千円(補助単価 15.9円/kg)					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	・集団資源回収事業、ペットボトル等回収事業 ・資源分別回収事業は、子ども会等による集団資源回収を含めたりサイクルシステム全体の中で捉えられるもので、各自治体で沿革等が異なるため、一律の比較は困難である。				
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	550,562	547,544	569,913	581,495	581,495
一般財源	550,562	547,544	569,913	581,495	581,495
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	0	0	0
事業コスト合計	550,562	547,544	569,913	581,495	581,495
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	資源分別回収事業			対象名称 と単位	回収量(t)
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	550,562	547,544	569,913	562,060	562,060
対 象 数	31,779	31,584	32,771	32,500	32,500
単位あたり経費(円)	17,325	17,336	17,391	17,294	17,294
前 年 度 比		1.00	1.00	0.99	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	回収量増加率	指標式と指標の説明	(本年度回収量 / 前年度回収量) × 100 * 回収量増加率の対前年度比較をする		
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績	95.5	100.2	103.8		
目標	101.0	101.0	101.0	101.0	101.0
目標達成度 (%)	94.6	99.2	102.8		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	資源化率	指標式と指標の説明	{資源回収総量 / (生活系ごみ収集量 + 資源回収総量)} × 100 * 資源化率の継続増をめざす(資源化総量: 集団資源回収等を含む)		
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績	22.2	21.7	23.6		
目標	22.6	23.6	24.6	25.6	26.6
目標達成度 (%)	98.2	91.9	95.9		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
C	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]	: 良好な状態を維持する事業			
	[]	: 概ね良好な状況である事業			
	[]	: 見直しを行う必要がある事業			
	[]	: 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・ 拡充・充実		津久井地域との制度統合に合わせ、相模原地域で行っている「三者協調方式」については、見直しに向け検討を進める。	
	<input type="checkbox"/>	・ 現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・ 見直し			
	<input type="checkbox"/>	・ 廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
委託化による競争性の導入			・自治会連合会に支出している奨励金への対応（活動原資となっていることが想定されるため、市民協調の視点からの検討を要する。） ・円滑な移行を図るための委託方法等の検討		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・ 拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・ 現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・ 見直し			
	<input type="checkbox"/>	・ 廃止			